

「手ぶらキャンプ」って？

夏の代表的なアクティビティと言えばキャンプ！

そこで、今回紹介するのは、ときわ・鹿公園両キャンプ場で始まった“手ぶらキャンプ”です。

このキャンプは、キャンプ道具を持っていなくても手軽にキャンプが楽しめ、テントの設営や撤去の必要がないので、小さな子どもがいる家族や女性だけのキャンプなども安心かつ簡単に楽しむことができます。

町内に住む方はもちろんのこと、町外や道外、さらには海外から観光に訪れた方にも、北海道の自然の中で、気軽にキャンプができるプランとして始めました。

料 金 1泊12,000円（10月末まで）

その他 1日5組限定。2日前までに要予約（先着順）。

【セット内容】6人用：大人4人、子ども2人

テント（タープ型）、グリル（炉）、焚き火台、テーブル、イス、シュラフ、シュラフインナー、マット、ランタン3種類、クーラーボックス2つ（食材用、飲み物用）、飯ごう、BBQセット（BBQ用串、トング等）、まな板、包丁、鍋、フライパン、やかん、火ばさみ、消耗品（紙皿※浅め・深め、コップ、割りばし、焚き付け、炭、薪、軍手、食器洗い洗剤等）

「手ぶらキャンプ」だからこそ ちょっとしたアクセント

テントやシュラフなど、大きな荷物を持って行く必要がないので、普段持っていけない道具を持参できるのがこの手ぶらキャンプの魅力！

今回はホットサンドメーカー（中央）、メスティン（右上・左上）、スキレット（左下）など、調理道具を中心に持参。これらの道具を使った料理も披露してもらいました！虫除けスプレーもあると便利です！



今回「手ぶらキャンプ」を体験したのは…



建設課土木・公園グループ 鳥越 翔 主事
キャンプ初心者鳥越です！

昨年からアウトドアに興味を持ち始め、現在YouTubeのキャンプ動画を見て、「こんなキャンプいいなあ、自分だったらこうしたいなあ」と妄想キャンプしているところです！笑

担当として、人に勧める前に自分がキャンプを知らないダメだ！！ということで、自ら体験し魅力を発信していこうと思いこの特集に参加させていただきました。

総務課情報グループ 小林 誠 主査

1日休みがあれば「どんなアウトドアができるか？」と頭を悩ます小林です。キャンプは年間10～15泊。キャンプ初心者の鳥越君との今回のキャンプは「手ぶらキャンプ」。道具がかなり揃っているということなので、基本的な道具の心配はなく。ただ、「皆さんに魅力が伝わるようにしないと！」というプレッシャーあり。



2人の手ぶらキャンプがいよいよスタート。
どんな2日間になったのか？次のページからその時の様子を紹介します。



協力 建設課
撮影 地域おこし協力隊 木下 知佳

予約・問合せ（実施期間中）

ときわキャンプ場 ☎228980

（9時～16時）

鹿公園キャンプ場 ☎2544880

（9時～16時）

ときわキャンプ場、鹿公園キャンプ場

掲載ページ

リンク先：町ホームページ

